



みんな、わかったかなあ

答えは、「とうしゅこう（頭首工）」です。

頭首工とは、川をせき止めて水路に水をひいてくる堰（せき）のことで、農家にとっても、大切な施設のことです。

頭首工とは、明治から使われている言葉で、水を引くための水路の頭の部分に付けられる水門や堰などをまとめて呼んだ施設のことです。

写真： 遙拝頭首工（ようはいとうしゅこう）